

松本市地域づくり推進交付金実績報告書(抜粋)

(申請者) 第三地区まちづくり協議会

1 交付決定額	I	金 550,000円
---------	---	------------

2 本年度実績の報告

(1) 本年度の交付金事業の報告

① 事業名: 近代産業発展の歴史発信事業				
実施主体	第三地区まちづくり協議会			
実施日(期間)	令和4年5月～令和5年3月			
実施場所	第三地区内			
事業概要	子どもをはじめ幅広い世代に近代産業の発展の歴史を伝え、第三地区の魅力を発信する。 1 松本の近代産業発展の中心人物である今井五介プロジェクトの立ち上げ 2 まちの歴史の理解を深めるため、まち歩きを実施(清水中学校生徒を対象)			
地域づくりの成果・効果	・まち歩きを通して、まちの歴史の理解を深め、合わせて松本市の近代産業発展の歴史も分かりやすく中学生に伝えることができた。 ・今井五介像を収蔵する松商学園の生徒に対し、「今井五介像制作プロジェクト」の立ち上げを提案しましたが、検討期間が必要という結果になり、活動に移ることはできませんでした。			
課題	・高校生とのタイアップの進め方、今井五介の業績の顕彰への取り組み手法の検討			
決算額	a+b+c	財源内訳		
	21,570円	a	b	c
		21,570円	0円	0円

- a : 本年度の交付金額のうち、この事業に充当した額
- b : 前年度の交付金の繰越額のうち、この事業に充当した額
- c : この事業に充当したその他の財源の額

② 事業名: 第三地区まちづくり協議会運営事業				
実施主体	第三地区まちづくり協議会			
実施日(期間)	令和4年6月～令和5年3月			
実施場所	第三地区内			
事業概要	協議会の部会活動について必要な経費を支出するもの 1 地域包括ケア勉強会の実施 2 100歳体操継続5周年表彰式・体験会の開催 3 来年度実施予定の地区防災訓練に備えて、本部用テント2張と災害用簡易トイレ3セットを購入			
地域づくりの成果・効果	・認知症に対する勉強会を実施し、地域ケア会議へとつなげることができた。 ・100歳体操の自主サークル立ち上げから5周年を迎えるため、表彰式を開催し、参加者のモチベーションアップを図ることができた。			
課題	高齢者を含め誰もが集える居場所づくりの推進と認知症勉強会の実施(特に若い世代対象に)			
決算額	a+b+c	財源内訳		

		a	b	c
	516,307円	512,301円	4,004円	2円

③ 事業名：地域子ども育成支援部会運営事業				
実施主体	第三地区まちづくり協議会			
実施日(期間)	令和4年6月～令和5年3月			
実施場所	第三地区内			
事業概要	地区内の子どもたちとの関りを深め、育成を支援するための活動を行う。 1 あがたの森夏まつり 2 繭玉づくり講習会			
地域づくりの成果・効果	・あがたの森夏まつりは新型コロナウイルス感染防止の観点から中止 ・繭玉づくり講習会を実施し、4組の親子が参加。三九郎も年々手作りの繭玉での参加が増えている。			
課題	コロナ禍で中止になっていた青山様・ぼんぼんの再開に向けて、伝統行事の継承という意味も含め、学習会の実施が必要 また、わかばの会との連携を深め、活動していくことが課題			
決算額	a+b+c	財源内訳		
		a	b	c
	1,655円	1,655円	0円	0円

決算額(計) (①+②+③)	A+B+C	財源内訳		
		A	B	C
	539,532円	535,526円	4,004円	2円

A：各事業のaの合計額
B：各事業のbの合計額
C：各事業のcの合計額

(2) 本年度の積立実績の報告

該当なし

(3) 本年度の交付金のうち、翌年度に繰り越す金額の報告

I-A-D	金 14,474円
-------	-----------

[参考]繰越上限額=I×2/10